

【授業の概要】

保育実習実施基準に示された保育実習Ⅰ（保育所・施設）の意義と目的、その内容について理解を図るとともに、自らの実習課題を明確にする。合わせて実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に学習する。さらに事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、今後の課題や目標を明確にする。

【授業要旨】

回数	題目	授 業 内 容
1	保育実習Ⅰの意義と目的の理解	・保育実習Ⅰの目的とその内容について理解する。
2	実習の概要	・保育士養成課程における保育実習の位置づけと、今後の実習計画、実習内容、実習履修に関する手続きなどについて概略的に理解する。
3	実習の内容（保育所）	・保育所の役割と機能について概略的に学ぶ。 ・保育実習Ⅰ（保育所）の実習内容について理解する。
4	実習の内容（施設）	・保育所以外の児童福祉施設の役割と機能について概略的に学ぶ。 ・保育実習Ⅰ（施設）の実習内容について理解する。
5	実習生としての留意事項	・実習に臨む姿勢、望ましい実習態度や身だしなみ等について事例を基に考え、実習生としてどのような点に留意すべきかを理解する。
6	実習手続きについて	・誓約書、身上書等実習書類のほか、腸内細菌検査受検など保育実習履修において欠かせない重要な手続きについて学ぶ。
7	実習の内容（施設）	・施設実習の目的・意義についての講義
8	施設実習手続きについて	・施設実習を行う上で必要な書類、もしくは手続きについての説明を受ける
9	児童福祉施設についての理解（1）	・保育所以外の児童福祉施設等についての講義 (乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童自立支援施設)
10	児童福祉施設についての理解（2）	・保育所以外の児童福祉施設等についての講義 (障害児入所施設、児童発達支援センター【福祉型・医療型】、情緒障害児短期治療施設)
11	児童福祉施設についての理解（3）	・保育所以外の児童福祉施設等についての講義 (障害者支援施設【生活介護、自立訓練、就労移行・継続支援】)
12	実習施設の決定 実習施設の理解（自主実習、オリエンテーションについて）	・各学生の実習先が決定した時点で実習を行う施設について理解し、自主実習、オリエンテーションをさせて頂くうえでの留意点を把握する
13	プライバシーの保護について	・入所児童や利用者についてのプライバシー保護についての理解を深める
14	実習記録の意義・方法の理解	・実習記録の記入方法についての具体的な説明を受ける
15	施設実習のまとめ	・学習の成果と今後の課題を整理し、達成に向けての目標を明確にする。 ・実習指導演理解についての確認をレポートにて行う

回数	題 目	授 業 内 容
16	保育実習Ⅰ（施設）の事後指導	・施設実習を行ったグループごとに分かれ、実習の振り返りを行う
17	保育実習Ⅰ（施設）の総括と自己評価	・前回の授業において行ったグループごとの実習の振り返りをもとに、レポートを作成し報告を行う
18	保育所の機能と社会的役割について	・保育所の機能の拡大とその役割について学ぶ。 ・乳児保育、延長保育、一時保育、障害児保育、病後児保育など多様な保育ニーズについて学ぶ。
19	子どもの人権と最善の利益の考慮について	・保育所保育指針に明記された「子どもの最善の利益を考慮した」保育について、具体的な事例を基に考える。
20	保育者の役割について	・保育所における保育士の役割について、子どもへのかかわり方、保護者支援など事例を基に具体的に学ぶ。
21	実習課題の明確化	・自己における保育実習の意義を明確にし、実習課題を設定する。
22	実習園の理解（オリエンテーションの指導）	・実習園を事前に訪問して、保育所の実態、保育方針、乳幼児の実態、保育所の一日の流れなど実習園についての具体的な情報を得た上で実習準備に活用する方法を学ぶ
23	保育所実習記録の意義・方法の理解(1)	・保育実習記録の意義を理解し、実習記録の具体的な内容を確認するとともにその記録方法について学ぶ。
24	保育所実習記録の意義・方法の理解(2)	・実習記録を記入する上で念頭に置いておきたい事柄について知り、記入の具体例を基に、記録方法について深く理解する。
25	実習における計画と実践	・保育計画、指導計画などの意義を学び、保育の計画について深く理解する。 ・実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体例を基に理解を深める。
26	守秘義務と実習生としての心構え	・実習を通して知り得た情報を他に漏らさないことの重要性について知る。
27	保育実習Ⅰ（保育所）の事後指導	・事後レポート記入、実習報告会への参加などにより、自己の実習を振り返ると同時に他者の実習体験を知り、理解を深める。
28	実習の総括と自己評価	・実習体験を整理し、保育実習Ⅰ（保育所・施設）に関しての自己評価を行う。
29	保育実習Ⅰのまとめと今後の課題の明確化	・保育実習Ⅰを通して生まれた新たな課題や学習目標を明確にする。
30	保育実習Ⅱに向けて	・既習の教科や保育実習Ⅰでの実習体験を踏まえ、主体的に保育実習Ⅱに取り組むことを目指して努力目標を明確にする。

【評価の方法】

受講態度 30%、提出物の状況 40%、試験またはレポート 30%

【テキスト】

基本保育シリーズ② 「保育実習」公益財団法人児童育成協会＝監修／近喰晴子、寅屋壽廣、松田純子＝編集 中央法規
(1年次購入したテキストを2年次でも使用する)

【参考書】

「保育ライブラリ 施設実習」民秋 言・安藤和彦他、北大路書房
「新保育ライブラリ 保育所実習」民秋言・小田豊他、北大路書房